

平成30年8月

# 平成30年度(春季) 小浜市議会報告会

## 行政回答書

### 〈 目 次 〉

内外海地区	P 1 ~ P 2
国富地区	P 3 ~ P 4
小浜地区	P 5 ~ P 7
雲浜地区	P 8 ~ P 10
西津地区	P 11 ~ P 12
宮川地区	P 13 ~ P 15
口名田地区	P 16 ~ P 17
松永地区	P 18 ~ P 19
加斗地区	P 20 ~ P 21
遠敷地区	P 22

※各ページの地区名の右に記載されているページ番号は、  
別途「議会報告会報告書」の該当ページを表しています。

# 内 外 海 地 区

小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【内外海地区】 P2

<p>質問</p>	<p>免許証返納のことだが、返納したいけれどこんなところに住んでいるので大変なことになる。タクシーの割引券が欲しい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>北陸新幹線・総合交通推進室</b></p> <p>コミュニティバスは少子高齢化が進む中、利用客数の減少傾向に歯止めが掛からず年間の運行経費に対して運賃収入は1割程度であることから、バス運営は厳しい状況となっています。</p> <p>このことから、市では高齢者等、交通弱者の移動手段の確保や中高校生の通学または観光客等の多様なニーズにも対応する公共交通の抜本的見直しを視野に研究を進めています。</p> <p>デマンドタクシーは高齢者等の移動手段として利便性が向上するメリットもある反面、近隣実施市町の調査では利用者一人当たり年間運行経費がバス以上に必要となるデメリットがあり、通勤通学や観光客に対応するコミュニティバスの廃止や更なる料金値上げを検討するなど一長一短の結果となっております。</p> <p>市は、人口規模や高齢者・中高校生等の利用など地域の特性と公共交通の重要性・必要性と踏まえながら、あらゆる交通形態の導入による利便性と効率性の両立を目指して更に研究を行ってまいります。</p> <p>なお、内外海地区においては既にまちづくり協議会と意見交換を行い、新たな公共交通の構築に向け協議をはじめましたので、ご理解と今後のご協力をお願いします。</p>

【内外海地区】 P2

<p>質問</p>	<p>昨年の台風の時、内外海はこの公民館と指定されているが、田烏には小学校体育館が避難場所指定されているのに、ここまで来ないといけないのはどうかと思う。職員が付かなあかんという話も聞いているが。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>生活安全課</b></p> <p>避難所の開設については、高齢者等の要支援者が余裕を持って避難していただけるように、明るい時間帯に各地区1箇所は、避難所を開設しております。</p> <p>また、その後につきましても気象状況の推移に応じて、順次、開設する避難所を増やしていくことにしているところです。</p> <p>従いまして、避難行動をとっていただく場合は、地区ごとに1箇所ずつ避難所を開設した時間帯の、できるだけ早い段階で行っていただきたいと考えております。</p> <p>ただし、旧田烏小学校につきましても、現在、地元で学校施設を維持管理されているところであり、今後についても、いつでも避難者を受け入れられる状態に保っていただけるのであれば、早い段階に開設していく方向で検討していきたいと考えております。</p>

<p>質問</p>	<p>泊、堅海、仏谷、若狭の西部だが、7年前土砂崩れがあった。あそこの法面が非常に危なく、原発も目の前にして避難するときどうなのか心配して、要望も出ているのだが解決していただきたい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>道路管理者である福井県からは、「7年前土砂崩れがあった法面については、平成23年5月に大雨による斜面崩壊が発生し通行止めが生じたことから、災害復旧工事にて防災対策工事を実施済みです。また、県道泊小浜停車場線は、地域住民の方々にとって生活道路であるとともに、避難時においても重要な道路であるため、施設の老朽化や自然災害によって道路の通行に支障がでないよう、今後も引き続き、定期的な道路パトロールや専門家による斜面点検等を行い、斜面の状況を把握していくとともに、必要に応じて対策工事を実施していきます。」との回答を頂いています。</p>

# 富 地 区

小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【国富地区】 P 4

<p>質問</p>	<p>高塚の場合、お寺に避難している。毛布は準備しているけど不足している。指定場所以外に避難することに市の対応は。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>生活安全課</b></p> <p>区が運営する臨時避難所における物資等の備蓄については、各区でお願いいたしたく、自主防災組織等活動支援事業補助金等を活用していただき、整備・拡充をお願いいたします。</p> <p>また、避難する際の自らの必要な物資等については、平時から避難時持出品として準備していただき、持参していただくことをお願いしているところであり、防災訓練等の際に区民の方々に周知していただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、避難が長期化するなど、万が一、物資が不足する場合には、可能な限り必要な支援を行ってまいります。</p> <p>※避難時持出品の内容は、4月に全戸配布いたしました防災パンフレットをご参照下さい</p>

【国富地区】 P 4

<p>質問</p>	<p>太良庄は去年4回水がついて、最後は孤立した。今年度の予算で何をやってくれるのか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>込田川が流入する北川の水位低下対策として国交省が平成24年度から順次河道掘削を実施しているところですので、市としても早期に効果が発揮できるよう今後も国に対し要望を行ってまいります。</p> <p>平成28年12月には国交省において、込田川合流部から高塚橋下流部までを、北川の河道掘削とは別に約400㎡の維持掘削を行って頂いたところであります。また、今年度は、北川と遠敷川の合流点の河川維持掘削を実施する予定と聞いております。</p> <p>なお、福井県が管理する遠敷川上流(国道27号より上流)の国道27号から若狭東高校の区間において、河川の河床整正を今年7月に実施されたと伺っております。</p>

質問	昨年は4回も水がついて、太良庄区民は非常に困っている。農作物の被害もひどかったので、その辺も合わせてお願いしたい。
行政側回答	<p><b>都市整備課</b></p> <p>全ての道路嵩上げ等、抜本的冠水対策には事業費と時間が必要ですので、喫緊の対応は困難な状況となっております。しかし、集落が孤立しないように太良線の道路改良工事を計画しております。</p> <p>また、事業費も大きくなることから国の補助事業で検討しておりますので今年度に、来年度から国の事業採択がされるよう要望しております。</p>

# 小 浜 地 区



小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【小浜地区】 P 7

<p>質問</p>	<p>来年、美郷小学校が開校すると、4校が廃校になるため、アップライトピアノを1台旭座のほうに活用できないか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>教育総務課</b></p> <p>4小学校には、現在アップライトピアノが1台ずつ配置されておりますが、小浜美郷小学校開校後の音楽教育においても同ピアノは必要であると考えていることから、一部は持ち寄ることとしています。</p> <p>また、残りは優先的に市内他小中学校の希望校へ配置換えをするなど、閉校後は備品の有効活用を考えています。</p> <p>このことから、他小中学校などへの配置換えがない場合においては、旭座など市内の公共施設での活用も可能であると考えています。</p>

【小浜地区】 P 7

<p>質問</p>	<p>浜っ子子ども園のところの交差点で、郵便局のほうへ行く道の街路樹が道のほうに出ており、大型のトラックには当たる感じがする。バスもよく通るので、対策を立ててほしい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>市で現地を確認しましたが、該当する街路樹がわからないため立会いをお願いします。立ち合いのうえ、道路の通行に支障となる場合には、県に対し要望していきます。</p>

質問	<p>夏になると旧小浜小学校跡が、草がすごく景観も非常に悪く、近所からも虫が飛んでくるなどのクレームがある。公園にするなどの予定はないのか。</p>
行政側回答	<p><b>文化課</b></p> <p>旧小浜小学校跡地は、平成28年10月3日に、守護居館跡が史跡後瀬山城跡に追加指定されました。国の史跡であるため、公園等に現状を変更する場合は国への届け出が必要となります。現在、山城跡と居館跡を合わせた一体的な保存活用計画を策定委員会において検討中であり、今年度末には、市民の皆様に保存活用計画をお示しできる予定でございます。</p> <p>なお、昨年度に比べ今年度の当初予算が増額となっておりますのは、この計画の印刷製本等にかかる経費でございます。</p> <p>また、昨年度から地域住民の皆様と協働し、草刈りやプランター花壇の設置等を行っているところで、保存活用計画の策定と並行し、景観整備事業にも引き続き取り組んでまいりたいと考えております。</p>

質問	<p>生玉区にも空き家があり、今にも屋根瓦が落ちそうなところもある。町中を歩くと、そのような空き家が何軒か散見されるが、地震や何か事故が起こるとまずいと思い、一昨年前から何回も市に伝えるも、調査しておくという回答ばかりで、いつまでも変化もない。議会からも市に要望を出してほしい。</p>
行政側回答	<p><b>都市整備課</b></p> <p>市への情報提供いつも有難うございます。生玉区内の空き家は留守宅を合わせ、14件把握しています。その中で、庇が垂れて屋根が傷んでいる物件に関して、所有者等へ適正な管理をお願いする文書を送付しています。文書では、管理不全によって通行人や近隣に被害があった場合には、所有者や相続人が損害賠償を請求されるリスクがあることを伝えていきます。まずは、所有者等が自ら対応していただくようにしています。</p> <p>所有者等が対応しない場合には、一番町や大宮区で行なっているような飛散防止用のネットの設置なども考えられます。状況によっては、特定空き家等に認定し、指導、勧告、命令、代執行と法律に基づいた対応や、まさに危険が迫っている場合には、条例によって最低限の措置を市が所有者等に代わって行う緊急安全措置を行うこともできますので、対象となる物件のパトロールと所有者等へのお願いを継続して行います。</p>

<p>質問</p>	<p>防災について、本日の福井新聞にヨウ素剤を置いている箇所の提示があったが、小浜地区は市民体育館と載っていた。地区、区によって避難する場所が違うと思うが、私たちは中央公民館が避難場所になっている。災害の場合にヨウ素剤を、中央公民館のほうにも配布をするのか。それとも避難する方々が体育館に行くのか。避難場所が中央公民館であるが、中央公民館に避難した方には届けてもらえないのか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>生活安全課</b></p> <p>原子力施設から5～30km圏の安定ヨウ素剤の配布については、国の指針に基づき、広域避難が必要となった際に、避難経路上において緊急配布することとしています。</p> <p>今回お示した17箇所の緊急配布場所は、候補地として挙げております。</p> <p>万が一、広域避難が必要となった時には、国が、避難が必要な地域や避難先を決定するため、安定ヨウ素剤の配付場所についても、候補地の中から開設する場所を決定します。</p> <p>従いまして、安定ヨウ素剤の受け取りは、避難を実施する際、状況に応じて開設する緊急配布場所にお立ち寄りいただいておりますこととなります。</p> <p>実際の避難時期や避難先等については、国が決定することになっており、安定ヨウ素剤の緊急配付場所等の情報も併せて、周知を行います。</p> <p>なお、市では、原子力災害時の避難行動等を紹介したパンフレット『小浜市防災のススメ（原子力防災編）2018 保存版』を7月下旬に全戸配布しておりますので、ご一読くださいますようお願いいたします。</p>

<p>質問</p>	<p>後瀬山整備計画でユースホステル跡に星の広場があるが、行く動線がとても厳しい状態で、草木が鬱蒼として上がりにくい。その56万の予算の中で木を切るなど可能か。木が当たり、車が行けない状態である。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>現在の当該市道（真珠浜支線）の管理状況としては、住居が無いことや交通量が比較的少ないことから、倒木や落石等が発生し通行が不可能になった場合の除去等、通行可能な最低限の維持管理に留まっているのが現状です。</p> <p>今後は、道路の利用状況をみながら、枝葉の撤去について実施してまいります。</p> <p>また、道路沿線の樹木は土地所有者の方の持ち物となっておりますことから、地域の皆様のご協力もお願いいたします。</p>

# 雲 浜 地 区

小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【雲浜地区】 P10

<p>質問</p>	<p>城内2丁目に住んでいる。台風時には堤防が決壊しないかと、心配している。南川の改修計画があるのか、ないのか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>南川の改修計画については、現時点において計画はありません。しかし、市としても引き続き福井県に対し河川改修事業の前提となる整備計画の策定に向けた流域検討会を開催するとともに、堤防の強化など必要な対策を早期に進めるよう要望してまいります。</p> <p>また、河川の浚渫や立木伐採については、小浜土木管内県管理河川の流下阻害状況等を踏まえ、緊急性の高い箇所から順次対応しております。</p> <p>今後も引き続きパトロールを実施し、適切な河川の維持管理に努めてまいります。</p>

【雲浜地区】 P11

<p>質問</p>	<p>生守地区にあれだけの家が建ってしまった今日、もし南川が決壊すれば大変な被害にみまわれるのではないか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>南川の管理は福井県が行っており、西街道線から舞鶴若狭自動車道付近の右岸側において、平成23年度から止水を目的とした護岸改修を実施して頂いております。</p> <p>今後、他の箇所も含めて必要性を見極めながら福井県と協議してまいります。</p> <p>なお、市としましては、南川上流の支川についても、県と情報共有し優先度を見極めながら対応の有無を検討してまいります。</p>

【雲浜地区】 P11

<p>質問</p>	<p>今回の大手橋、西津橋の改修で、一番町側へ20m、橋が延びる。全然川の幅は変わらずに、橋だけが長くなるというのは、理屈に合っていない。県の姿勢に対して、もっと市として、河川そのものを改修するという方向に持っていけないといけない。もし決壊したら人災だと言われていたが、そのとおりと思う。橋だけの改修ではだめで、河川改修を追加でしてくれるのかと県に聞いても、何も計画がない、という回答。何回言っても聞いてくれない。やはり議員が地域全部をひっくるめて県を動かし、国を動かし、やってもらいたい。橋だけが延長されて、川はそのままというそんな格好の悪いものでどうするのか。せめて河川改修の計画に取り組んでいただきたい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>南川の改修計画については、現時点において計画はありません。しかし、市としても引き続き福井県に対し河川改修事業の前提となる整備計画の策定に向けた流域検討会を開催するとともに、堤防の強化など必要な対策を早期に進めるよう要望してまいります。</p> <p>なお、河川改修については、事業費も大きく事業化するまでに時間を要することから先行する大手橋の架け替えは、将来、河川改修に支障を来さない計画でされていると聞いております。</p>

【雲浜地区】 P11

<p>質問</p>	<p>漁港側に広げるのは100%できません。あちらに広げたら、千種、大手、一帯に水がつく。それは県も認めている。河口で、要は一番高い水位が2m10cm。ところが、漁港の岸壁が1m4、50センチですよ。南川の本流が2m10cmも上がるのに、漁港の岸壁がそのレベルです。ということは、向こうに流れたら、郵便局から、千種、あのあたり、今でも水がついて大変なところが、ますます水がつく。ぜひ、航空写真を見てほしい。どの写真でもわかる。市にもある。洪水の写真も何回も出している。導流堤から漁港のほうに80cmから1mぐらいの落差ができる。議員の皆さんは、南川がどんな形か認識不足。南川はどのような状態なのかを改めて見てもらおうと、どういう形になっているかというのがわかるので、もっと頭の中に入れていただきたい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>ご要望の件についても、現在、南川の河川改修計画がなく市としても要望している河川整備計画の策定に向けた流域検討会のなかで検討されるものと考えています。</p>

<p>質問</p>	<p>ここはターミナルセンターがあるが、地区の催し物がある時、大雪の時、道路幅が狭くて大変。新幹線も大事だが、城内地区の道路幅の拡幅をお願いしたい。大型の消防車も入れない。そういう状況なので、早く何とかしてほしい。</p> <p>学校・ターミナルがあり、雲浜地区の皆さんがここを使うので道路の狭さがこたえる。最低5mほどは欲しい。そうでないと2車線の道路ができない。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>ご要望の市道拡幅については、市内全域からの継続要望や新規要望も多く、緊急性や必要性を見極めながらの対応となりますのでご理解をお願いします。</p> <p>また、河川改修計画と調整する必要があると思いますので、今後、福井県の河川改修計画策定の進行状況を見据えながら検討してまいりたいと考えております。</p>

# 西 津 地 区



小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【西津地区】 P 15

質問	<p>融雪装置の件だが、旧市内というか、小浜市内の中の県道の部分に関しては、全てもう融雪装置が入っている状況ではないかと思う。駅前の県道とかは、ほとんど入っていると思う。ここは、国道なのでまた、原発がすぐ近くにあり、有事の際には、この国道で逃げなければならない。できれば、議会からでも応援してほしい。</p>
行政側回答	<p><b>都市整備課</b></p> <p>道路管理者である福井県からは、「西津地区においては、現時点では新規の融雪装置を整備する計画は無く、機械による除雪を実施しているところ。融雪装置は、除雪による対応が困難な場所に設置しており、水の供給不足等の問題があり、検討が必要と考えております。</p> <p>有事の際に避難の支障が出ないよう、今後も引き続き、道路除雪を適切に実施していきます。」との回答を頂いています。</p>

<p>質問</p>	<p>実は2年前の大雪の時に市からの除雪車が入ってこれないという問題があった。業者に委託しているが、業者も回ってこないということがあった。原因は旧西津地区内は雪をはねる場所がない。3日ほど陸の孤島になっていた。最終的には、雪を捨てる場所がなく、公民館の交差点のところに、雪が歩道側に山積みされていた。道路幅が狭い、また密集しているということで、生活道路を保全するために、やはり融雪装置があれば、何らかの足しになるのではないか。子供たちが学校へ行くのに、非常に危ない状況であった。また西津地区への助成金等お願いしたい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>昨年2月の豪雪時には地域の皆様に大変なご不便をお掛けし申し訳ありませんでした。</p> <p>除雪が進まなかった主な原因として、おっしゃる通り雪を置いて置ける場所が無いこともあります。短時間に集中して降ったことにより、除雪のスピードを優先する計画で配置していた市所有機械の除雪能力を大きく上回ってしまったことが考えられます。</p> <p>これを受けて、昨年は非常時に出勤させる緊急用の車両を数台ですが確保したところです。</p> <p>融雪装置については、国の除雪に関する補助金制度では、交通量等が少ない路線についての新設は採択が難しい状況となっています。また、地下水への影響も懸念されます。</p> <p>狭小市道の除雪につきましては、コミュニティ助成事業や、地域除雪に関する助成を活用しながら、引き続き地域の皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p><b>市民協働課</b></p> <p>積雪時、除雪車が入らない道路や歩道等の除雪については、区民等のボランティアによる地域コミュニティに頼るところが大きい状態となっています。除雪機についても、個人所有のものや地区等で所有しているものを使用いただいているという現状です。</p> <p>除雪機の使用に伴う燃料代、作業時の保険代は、地区まちづくり協議会への交付金に含まれていますので、除雪作業前に事務局である公民館に相談していただきますようお願いいたします。</p> <p>地区への除雪機の整備については、市の補助制度はありませんが、昨年度も申請いただきました、(一財)自治総合センターの一般コミュニティ助成事業(上限250万円)を、助成事業の内容等を見直して再度申請いただきたいと思います。</p> <p>また、一般コミュニティ助成事業以外の補助金等については、情報が入りましたら、公民館を通じて情報提供させていただきます。</p>

# 宮 川 地 区

小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【宮川地区】 P 1 8

<p>質問</p>	<p>一番町の雲城水を汲みに来る人の車が交通の邪魔をしている。 郵便局、福井銀行にくる人の車と交錯して極めて危険であるので、駐車場を確保できないか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>環境衛生課</b></p> <p>雲城水の利用者駐車場の確保については、これまでも整備を検討したことがありましたが、用地の確保ができず断念した経緯があります。現在は、地元が福井銀行へ駐車場の使用を依頼し、協力いただいているとお聞きしています。</p> <p>市としては、新たな用地確保が見込めない現状では、早期の駐車場整備は困難であると考えていますが、今後も引き続き周辺の用地の動向を注視してまいります。</p>

【宮川地区】 P 1 8

<p>質問</p>	<p>第10消防団の部の再編により軽トラの配備がされたが従来持っていた消防ポンプの修理、維持は地元地区の負担になるのか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>生活安全課</b></p> <p>若狭消防署によりますと、軽トラック積載ポンプが配備された場合、既存の台車付き小型消防ポンプは、地元地区に払い下げとなります。 その際の維持管理は、地元で行っていただくことになり、その維持管理費も、地元で負担していただくこととなるとお聞きしております。 なお、軽トラック積載ポンプの配備計画は、平成30年度は、第5分団の神宮寺と金屋、第6分団の三分一と門前に配備する予定であり、第10分団の宮川地区への配備時期は、未定と聞いております。</p>

質問	<p>加茂地区に除雪車両が入ってこない、道幅が狭いということで来ないらしいが道幅の基準を聞かせてほしい。市道であるなら市の除雪路線に入れるべきである。</p>
行政側回答	<p><b>都市整備課</b></p> <p>現在、小浜市内には約435kmの市道があり、そのうち約264kmを市が除雪を行う路線としております。しかしながら、新規に除雪路線を追加していくことは、配備機械体制や人員、予算的な問題などから困難な状況となっております。</p> <p>一般的な除雪路線の基準としては、地域間を結ぶ幹線市道や、人家が連続している一般市道で、幅員4m以上としています。</p> <p>主な理由としては、除雪する際には雪を両側へ押し出す必要があり、狭い場所で無理に実施しますと、道路の横にある道路構造物や個人所有の塀・柵などを破損してしまう場合があるからです。</p> <p>また、人家等が張り付いておらず、代わりに迂回することが可能な路線がある場合や、行き止まりとなっている路線も除雪路線としていません。</p> <p>狭小市道につきましては、昔から地域の皆様のご協力により対応しているのが現状です。ご理解と御協力をお願いいたします。</p> <p>狭小市道の除雪につきましては、コミュニティ助成事業や、地域除雪に関する助成を活用しながら、引き続き地域の皆様のご協力をお願いいたします。</p>

質問	<p>小浜市の文化会館が老朽化している。若狭町のパレアが大変立派でありうらやましい。コンサートの規模としてあのくらいの規模の施設、小浜市にはできないのか。</p>
行政側回答	<p><b>文化課</b></p> <p>小浜市文化会館は昭和 46 年（1971 年）開館しました。日本におけるホール建設の第 1 期に建てられ、当時は若狭地域唯一のホールとして、著名な出演者による舞台公演が行われておりました。</p> <p>一方、文化会館を利用する市民合唱団等の活動が実り、開館から 22 年目にあたる平成 5 年（1993 年）にフルオーケストラと市民による初の第九演奏会が行われ、以降毎年実施されております。</p> <p>また、開館と同時に旗揚げした市民劇団の演劇活動も継続しており、いずれも大ホールの機能を市民の方に存分に活用いただいております。</p> <p>今年度は、6 月に宝くじ文化公演を行う機会にも恵まれ「南こうせつ with ウー・ファンコンサート」を行うことができました。満席のお客様にご来場いただき、音響照明と舞台装置の整った会場でのコンサートをお楽しみいただいたところです。また、10 月には世界的な女性ギタリストの来日公演 4 カ所のうちの 1 カ所の公演が行われるなど、当会館では市外や県外から観客を呼べる催しが行われております。</p> <p>文化会館の施設面については、耐震補強工事や設備機器の更新などにも順次対応するべく準備している状況でございます。</p> <p>今後も、市内あるいはもっと広い範囲の中で、小浜市文化会館の位置づけを考えながら整備に取り組んで参りますので、機会がございましたら文化会館に足をお運びいただき、各種行事を盛り上げていただきましたら大変ありがたく存じます。</p>

# 口 名 田 地 区

<p>質問</p>	<p>地域包括支援センターの休日、夜間の利用状況も含め市民の認知度がまだまだ低い。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>高齢・障がい者元気支援課</b></p> <p>平成29年度の夜間、休日の利用状況については、小浜市地域包括支援センター（市包括）は、訪問・面談対応が5件、電話対応が12件でした。小浜市社会福祉協議会地域包括支援センター（社協包括）は、訪問・面談対応が12件、電話対応は100件以上でした。</p> <p>ただし、社協包括の電話対応については、同一の方（認知症高齢者等）から休日に何度も電話がかかってくるものです。</p> <p>休日や夜間における訪問・面談対応の多くは、ご本人やご家族等のご都合に合わせ、前もって予定を決めているものです。</p> <p>その他、虐待事案等の緊急対応については、常に職員に連絡が取れる体制をとっています。</p> <p>休日、夜間の対応については、市包括は市役所から職員に連絡が入るようにしており、また、社協包括については、職員用の携帯電話に相談の電話が転送されるようになっており、両センターとも24時間365日、対応できる体制をとっています。</p> <p>地域包括支援センターの市民に対する周知については、随時、広報おばま等により行っており、特に、平成29年3月号では、「高齢者の元気・安心を応援します」という特集記事を掲載し、地域包括支援センターの役割やセンターが2カ所になることをお知らせしました。また、翌月の3月には、2つの地域包括支援センターの所在地や連絡先、役割等をまとめたチラシを全戸配布いたしました。</p> <p>各種団体の会合や出前講座等、様々な機会をとらえて、地域包括支援センターに関する広報を行っているところですが、まだまだ周知が足りないのご意見もいただいておりますので、今後も多くの市民に、地域包括支援センターについて知っていただけるよう、更なる広報に努めてまいります。</p>



<p>質問</p>	<p>除雪対策として、国道と県道を結ぶ口名田橋において担当業者が違うのか、両サイドが除雪されているにもかかわらずそこをつなぐメインルートの除雪対応が悪い。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>都市整備課</b></p> <p>市内に網目状に張り巡らされている市道は、除雪に時間がかかっているのが現状であり、市民の皆様には大変ご不便をおかけしております。</p> <p>昨年度の冬につきましては、口名田地区の降雪が比較的少なかったことから、市の除雪出動基準に達していなかったこともあり、除雪を行わなかった日がありました。</p> <p>今後は、県の出動状況の確認や、除雪協力業者とも相談し対応を検討していきます。</p>

# 松 永 地 区

小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【松永地区】 P 27

質問	小浜病院というのは一体赤字か、黒字か。
行政側回答	<p><b>高齢・障がい者元気支援課(公立小浜病院)</b></p> <p>平成15年度から小浜病院は、赤字決算が続いています。要因としては、救命救急・高度医療棟、精神病棟などの施設整備を行った借入金の影響が大きく、また、救命救急センターをはじめ、へき地医療など若狭地域の中核病院として不採算医療も担っていることが考えられます。</p> <p>病院経営の改革、改善に向けて、平成28年度にプランを策定し、病院経営の基盤強化や経営の効率化を図っています。平成30年3月からは、療養病床を削減し、一般病床を増床することで、急性期の患者に高度な医療を提供し、入院医療の質の向上や経営改善を図っております。</p> <p>今後も若狭地域の中核病院として幅広い医療機能を提供するという役割を担いながら、住民の皆様にご信頼いただけるよう経営改善に努めてまいります。</p>

【松永地区】 P 27

質問	小浜市の税の滞納に対する取り組みはどうか
行政側回答	<p><b>税務課</b></p> <p>市税収入は、平成27年度36億1千9百万円、平成28年度36億1千7百万円、平成29年度36億5千3百万円と推移しています。</p> <p>このような中で市税の収入未済額の状況については、平成27年度末は2億5千500万円、平成28年度末は2億3千万円、平成29年度末2億1千900万円と減少しています。</p> <p>収納対策につきましては、税務課職員による夏季特別強化徴収、全庁体制(課長補佐以上の職員)による冬季特別強化徴収、納付指導員による訪問徴収などを行なっていますが、納税意識の低い悪質な滞納者につきましては、福井県地方税滞納整理機構と共同して徴収を行っています。</p> <p>今後におきましても、新規滞納の発生を抑制するとともに、確実な収納を得ることによる自主財源の確保、税の公平性の確保を図ってまいります。</p>

<p>質問</p>	<p>小浜線の増強工事について、県予算がついたというのは本当か。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>北陸新幹線・総合交通推進室</b></p> <p>風雨等に強いJR小浜線の機能強化や快速化等による利便性の向上について、県および事業主体であるJR西日本に対し、市の重要要望として要望を重ねていますが、現在のところ工事に関する回答はない状況です。市は、今後もJR小浜線の利便性向上に向けて粘り強く要望を行ってまいりますので、ご理解をお願いします。</p>

<p>質問</p>	<p>最近、高齢者の交通事故が多くなっており、今後、免許証を返納するという方が増えてくると思う。村部の者は免許証がないと致命傷になるが、それに対する小浜市の取り組みとして、デマンドタクシー制度を考えられているか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>北陸新幹線・総合交通推進室</b></p> <p>コミュニティバスは少子高齢化が進む中、利用客数の減少傾向に歯止めが掛からず年間の運行経費に対して運賃収入は1割程度であることから、バス運営は厳しい状況となっています。</p> <p>このことから、市では高齢者等、交通弱者の移動手段の確保や中高校生の通学または観光客等の多様なニーズにも対応する公共交通の抜本的見直しを視野に研究を進めています。</p> <p>デマンドタクシーは高齢者等の移動手段として利便性が向上するメリットもある反面、近隣実施市町の調査では利用者一人当たり年間運行経費がバス以上に必要となるデメリットがあり、通勤通学や観光客に対応するコミュニティバスの廃止や更なる料金値上げを検討するなど一長一短の結果になっています。</p> <p>市は、人口規模や高齢者・中高校生等の利用など地域の特性と公共交通の重要性・必要性と踏まえながら、あらゆる交通形態の導入による利便性と効率性の両立を目指して更に研究を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。</p>

# 加 斗 地 区

小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【加斗地区】 P 30

質問	地域のみんなが使う施設についてのバリアフリーとか進める取り組みがされるといいなと思う。						
行政側回答	<p><b>高齢・障がい者元気支援課</b></p> <p>公共施設等のバリアフリーやトイレの洋式化については、公共施設を管理している所管課が取り組みを進めています。</p> <p>地域の皆様がよく利用される集会施設については、高齢・障がい者元気支援課の予算として、高齢者等にやさしいコミュニティセンター改修助成事業があり、集会施設を利用した高齢者等の生きがい活動や介護予防活動を促進する目的で集会施設のトイレの洋式化を促進しています。</p> <p>補助率は、補助対象経費の20%で補助限度額は100千円です。</p> <p>地域の集会施設については、高齢者をはじめ地域の皆様がよく利用される施設ですので、和式トイレのところは、この事業を活用していただければと思います。</p> <p>(参考) 過去3カ年の取り組み状況</p> <table><tr><td>平成27年</td><td>3件</td></tr><tr><td>平成28年</td><td>2件</td></tr><tr><td>平成29年</td><td>4件</td></tr></table>	平成27年	3件	平成28年	2件	平成29年	4件
平成27年	3件						
平成28年	2件						
平成29年	4件						

<p>質問</p>	<p>加斗地区には放課後児童クラブがないが、この件についてお尋ねする。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>子ども未来課</b></p> <p>加斗地区における児童クラブの設置については、これまでも一部の保護者から要望を聞いております。市では、毎年、児童クラブに関するアンケート調査を実施しており、平成30年度の加斗地区における児童クラブ利用希望者は、通年が4名、長期（夏休み）のみの利用希望が1名という結果でした。</p> <p>利用者が数名しかいない場合、新たに児童クラブを開設することは費用面から困難であり、他の児童クラブで受入を行うことを代替案として検討していましたが、平成30年度の加斗地区における実際の児童クラブの通年利用申込者は結果的に0名でした。</p> <p>なお、平成30年度の長期（夏休み）のみの利用申込者は、3名の申込があり、今富児童クラブを利用させていただくことで対応させていただいております。</p> <p>児童クラブの新規開設には、費用対効果を考えると、開設場所が確保されることに加え、継続して5名から10名程度の利用者が見込まれることが必要と考えております。</p> <p>現在のところは、来年度以降も、数名程度の通年利用を見込んでおりますが、希望があった場合には、代替方法（他の児童クラブへの送り）での受入を検討させていただきたいと考えております。</p>

<p>質問</p>	<p>更に今年度初めて、加斗小学校始まって以来、複式学級ができた。複式学級ができると、学校の先生の数が減る。他の市町に行くと、複式解消の先生を雇うというところもあるが、小浜市はその辺はどういうふうになるつもりか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p><b>教育総務課</b></p> <p>おおい町などの近隣の市町では、市や町が負担して講師を雇って複式学級を解消している事例もあります。小浜市では、これまでから中名田小学校、松永小学校、宮川小学校に複式学級がありますが、人材確保などの面から市独自で講師を雇うまでには至っておらず、複式学級を解消できていないのが現状です。</p> <p>このことから、加斗小学校においても同様のことでありますので、複式学級の解消については、難しい状況であることをご理解ください。</p>

# 遠 敷 地 区



小浜市議会報告会  
質問、要望に対する回答

【遠敷地区】 P 31

質問	小学校の4地区統合があったが、保育園なんかも4地区統合ができないか
行政側回答	<p><b>子ども未来課</b></p> <p>小浜市立保育園統廃合及び民営化計画（後期第2期）では、平成32年度以降に、遠敷・松永・国富・宮川保育園4園の統廃合について、検討することとしています。但し、今年度は、社会的要因や市の財政事情も考慮しながら、本計画の一部見直しをする予定です。地域の皆様の意見を踏まえながら検討することとしておりますので、ご了承ください。</p>